

令和 3 年度 第 10 回 理事会議事録

日 時：令和 4 年 1 月 12 日（水） 19：00～21:00

場 所：代表理事自宅

[出席者]

理 事：小嶺衛、立津統、末吉恒一郎、久高将臣、神谷喜一、仲宗根美紀、金城良和、
當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、南部路治、当真祐二、玉城すみれ、武富新太郎

監 事：仲西孝之

欠 席：山城忍、千知岩伸匡

委員会：溝田康司（50 周年記念誌編集委員会）砂川昌信（選挙管理委員会）

高橋陽（第 22 回沖縄県理学療法学会実行委員長）

書 記：上原智香

WEB 担当：上地誠之

[審議事項]

- ・第 1 号議案 入会の承認に関する件 …【資料ファイル 1】
- ・第 2 号議案 広報に関する事業の計画変更ならびに補正予算に関する件に関する件
【資料ファイル 2】
- ・第 3 号議案 謝金の支払い規程に関する件
- ・第 4 号議案 講師推薦依頼に関する件

議決に加わることの出来る理事数 15 名

出席者理事数 14 名

上記のとおり、理事及び監事の出席が確認され、代表理事小嶺衛が議長となって、本理事会は Web 会議システムを用いて開催する旨宣言した。

議長は、理事小嶺衛、立津統、末吉恒一郎、久高将臣、神谷喜一、仲宗根美紀、金城良和、當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、南部路治、当真祐二、玉城すみれ、武富新太郎、山城忍、監事仲西孝之、千知岩伸匡は Web 会議の方法により本理事会に出席する旨を説明し、Web 会議システムにより、出席者の映像と音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議案の審議に入った。

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

- ・R3. 12/9～1/11 までの受付・発行文書 …【収受・発行文書(原本)ファイル】

・ R3. 12/1～12/31 までの会員異動詳細 … 【資料ファイル 2】

・ 事務員の給与明細 … 【資料ファイル 3】

4. 社会職能局

※月次活動報告

5. 教育学術局

※月次活動報告

6. 各種委員会

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 4 年 1 月 11 日		提出者：上地誠之	
担当局：事務局		担当部：総務部	
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル 1】		
議案内容 及び 提出理由	<p>【入会申請者】計 1 件 承認： 1 件、 否認：0 件、保留 0 件 ※令和 3 年度累計 <u>99 名 (2021. 4. 1～12. 31)</u></p> <p>【会員動向】令和 3 年 12 月 31 日現在 ※連絡不能者含む</p> <p>・ 在会会員数：1552 名、施設所属会員数：1402 名、自宅会員数：150 名、休会：260 名</p> <p>・ 会員所属施設数：283 施設</p> <p>【期間会員動向】令和 3 年 12 月 1 日～令和 3 年 12 月 31 日</p> <p>※当協会入力状況から検索</p> <p>異動： 12 名（県内：12 名 転入：0 名 転出：0 名）（うち再申請： 0 名 否認 0 名）</p> <p>休会： 3 名 ※休会継続含む</p> <p>退会： 2 名</p> <p>復会： 0 名</p>		
審議内容	1 入会の承認について		
	上地部長にて説明 異論なし		
審議結果	入会申請のあった 1 名の入会承認について 14 名一致で可決		
	担当局： 事務局	担当部：総務部	
備 考			

第 2 号議案 広報に関する事業の計画変更ならびに補正予算に関する件

提出日：令和 4 年 1 月 11 日		提出者：比嘉俊文	
担当局：事務局		担当部：情報システム広報部	
議案主題	広報に関する事業の計画変更ならびに補正予算について		
議案内容 及び 提出理由	県民への広報の手段として、HP 掲載・Facebook・YouTube の運用ならびに周知活動、会員ニュース、FAX 通信の発行を行なっている。加えて広報誌費用として 50,000 円計上しているが費用対効果を考え、S N S (Twitter、Instagram、公式 L I N E) ならびにメールマガジンの開設へ事業計画変更を行い、幅広く情報伝達を図りたい。 定款第 4 条の 4 理学療法に関する開始その他の刊行物の発行及び調査研究に寄与する事業 2) 情報収集および広報事業として発信の強化として実施したい。つきましては、各 S N S の開設、メールマガジンの運用の可否について検討いただきたい。		
審議内容	1 事業計画ならびに予算変更 可・否 2 SNS 開設の可否について 1-1 Twitter の開設 (開設無料) 1-2 Instagram の開設 (開設無料) 1-3 公式 L I N E の開設 月額 5500 円 (年間 66000 円) 3 メールマガジンの運用について (主に会員) S N S を活用していない方々への情報伝達ツールとして Mail chimp を想定 月額 1750 円 (年間 21000 円) 〈参考〉 Mail chimp 月額 1750 円 (standard) brast mail 初期費用 10000 円 月額 3000 円 will mail 月額 4000 円		
審議結果	・ 広報予算 36 万で計上、広報誌 5 万計上していたが広報誌発行は中止し SNS 開設の費用としたい。 ・ いつごろまでに開設するのか？ →開設自体はすぐにでも可能。学会開催に関しても情報発信や共有が出来るのですぐにでも開設して欲しいと要望あり。登録方法に関しては課題があるので各部局のイベントで周知していきたい。 ・ SNS など広報ツールを増やしていく事に関して業務負担はどうなるのか？ →各施設で分担して運用していきたい。部員スタッフを増やしていきたい。 ・ フェイスブックとインスタは連携も可能なので活用していったらどうか。 事業計画ならびに予算計画変更、SNS 解説の可否について 14 名全員一致で可決		
担当局：事務局		担当部：情報システム広報部	
備 考			

第 3 号議案 謝金の支払い規程に関する件

提出日：令和４年１月１１日		提出者：小嶺衛、久高将臣	
担当局：事務局		担当部：総務部	
議案主題	謝金の支払いに関する規定について		

議案内容及び提出理由	第 9 回理事会にて継続審議となった。修正を行ったので再度ご審議いただきたい。	
審議内容	1. 追加策定について <ul style="list-style-type: none"> ● 講師の分類を新設した ● 資格や役職名を追加した。 ● 専門。認定理学療法士についても再掲した。 2. 変更について <ul style="list-style-type: none"> ● 1 小間 90 分を 60 分へ変更した ⇒議論の中では 90 分のままが良いとの意見だったが、理事懇談の際、社会職能局より 60 分の講習会が存在するとの意見があった。 3. 規定施行年月日について	
審議結果	1. 追加策定について 14 名全員が可決 2. 変更について <ul style="list-style-type: none"> ・ 謝金 30 分単位の規格を設けた。 ・ 2 時間以降を 50%または 3 時間以降を 50%、最大 6 時間までとする。 ・ 県内講師、会員の先生方には多く支払ってもいいのではないかと 3 時間以降 50%が望ましいか。 ・ 今後専門認定資格取得者を増やしていきたい方向ではあるが、専門認定の謝金変わらないのはどうか。新生涯学習プログラムでも、どちらが上だという位置づけではない(専門分野が違ってくる)ので一律でも問題ないのではないか。 ・ シンポジウム講師の謝金に関しては JPTA のものを参考にする。 	
	担当局：	担当部：
備 考		

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

会 長 小嶺 衛

監 事 千知岩 伸匡

監 事 仲西 孝之